



農業用水路の「ぬるめ」は、幅 16 m全長 300 m、コンクリートでできており、暑い日にはこの水路を流れる間に水温が3℃も上昇します。現在の「ぬるめ」は昭和56年に付け替えられたものですが、それ以前の「ぬるめ」は幅が今の半分、全長が今の倍もあり、上流は今のゴルフ場の中を流れっていました。昔の水路跡は「わっぱらんど」内に現在でも残っており、一部は駐車場や散策路として利用されています。

県内でもめずらしいこの「ぬるめ」。旧水路の敷地も含め、周辺2haが市有地となっています。その土地を活用しようという市の呼び掛けに応じて、1999年に、市民・行政・企業の協働による公園づくりが始まりました。今では安全に遊べる水辺として、多くの市民や観光客に親しまれています。



「ぬるめ」誕生の創作民話 へそすりの池

語り：大町民話の里づくり
もんぺの会

次の QR コードから
音声ファイルを聞く
ことができます。



<https://grutta.net/img/monpe/hesosuri-no-ike.mp3>

わっぱらんど 25年のあゆみ	
1999年	土地を所有する大町市農林水産課が、自然公園として整備しようとボランティアを募集 観察と会議を重ねて、どんな公園にしたいか案を出し合う
2000年	「わっぱらんど」の名称が決まり「わっぱらんどの会」が発足 ヤブ刈りや倒木・枯木の除去等の整備開始、橋の建設、第1回わっぱらんど夏祭り
2001年	ビオトープ池の整備、あずまやの建設、維持管理作業、夏祭り等イベント チェーンソー・のこぎり・草刈機など道具の購入 県の土地改良事業により、駐車場、トイレ等が整備される 事務局が市から民間に移る
2002年	車止め、ベンチなどの設置、夏祭り等イベント
2003年	小規模看板の設置、交流センターの建設、夏祭り等イベント、維持管理作業 平成15年度第18回農村アメニティ・コンクールの選賞受賞 平成15年度農業農村整備調査計画労働者表彰（関東農政局）受賞
2004年	5周年記念事業としてFM長野公開生放送「平河地一丁目」野外コンサート、野外ホールの建設、夏祭り等イベント、維持管理作業
2005年	エコツアー・観察の受入れ、夏祭り等イベント、維持管理作業
2006年	野外ホールの修繕、夏祭り等イベント、維持管理作業
2007年	夏祭り等イベント、間伐含む維持管理作業、市内小学生の課外授業受入れ開始 「わっぱらんどの会」の呼びかけにより「大町温泉郷ぐるったネットワーク」を設立 のちにNPO法人ぐるったネットワーク大町となる
2008年	夏祭り等イベント、間伐含む維持管理作業 第15回コカ・コーラ環境教育賞受賞
2009年	10周年記念事業として、子供たちの参加のもと手作りでツリーハウスの建設
2010～2018年	夏祭り等イベント、維持管理作業を継続 市内小学校の課外学習受入れを拡大、教育旅行の受入れも始める
2016年	わっぱらんどの有効活用と活動の継続を考え、NPO法人ぐるったネットワーク大町と合併 ぐるったネットワークの中の一部会として活動を継続することとなる
2019年	20周年の節目を迎え、次の20周年に向かうために「わっぱらんどを育む会」設立 20周年記念イベント「ロングロング流しうめん」を含む夏祭り開催、維持管理作業 長野県知事表彰、大町市表彰
2020年	橋とツリーハウスの修繕、デッキの交換 コロナとトイレ修繕のため、夏祭り中止（2022年まで）
2022～2024年	維持管理作業、イベント等実施
2024年	地元のヒノキ材でベンチ 6台制作・あずまやのテーブル修繕 「わっぱらんどの会」活動終了 NPO法人ぐるったネットワーク大町が活動を継承



このパンフレットは「ゆうちょう エコ・コミュニケーション」からの寄付を活用して作りました



わっぱらんどへ ようこそ

わっぱらんどはみんなで作るみんなの公園です。
訪れた人が豊かな自然の中で憩い楽しめる空間にしようと
水路と周りの雑木林に手を入れています。
この公園に完成はありません。
草を刈ったり、掃除をしたり、修繕したり…
私たち一人一人の手で居心地のよい場所にしていくことが
できるのです。思いっきり遊ぶことも参加のひとつ。
多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



ぬるめの成り立ちと開拓の歴史

わっぱらんどを流れる上原温水路（通称：ぬるめ）は、上原集落の米づくりのために造られたものです。上原集落は戦後の入植でできた村で、50 ha 程のまとまった水田が開墾されました。傾斜地ゆえの広い畔、あちこちに残る手積みの石積に、当時の苦労がしのばれます。

水田を潤す水は篠川から引きますが、北アルプスの雪溶け水を源とする急流の水は冷たく、稻作に適したものではありませんでした。そこで人々は、川の水を広く浅く流す温水路を造ることで、田んぼにかける前に冷たい水を少しでも温めることを考えました。それがこの「ぬるめ」です。

開拓後数年して田んぼで稻作が始まつ頃、上原集落の米の収量は1反あたり4～5俵でした。平成30年の長野県の平均値が約10俵なので半分以下だったわけです。

温水路ができる後には水温は3℃上がり、収量が7～8俵になったそうです。水温を1℃あげると米が一俵増収することをいう「一度一俵」は、こうした実体験から生まれた言葉なのです。



利用のルール

- ・水を汚さない
米づくりのための水です
ゴミや洗剤を流さない
- ・ゴミはすべて持ち帰る
野生生物(クマ、サル、カラス)を呼ぶので、特に食べ物のゴミは残さない
- ・山火事に注意
直火は使わない
火は完全に消し、燃え殻も持ち帰る
- ・木を伐ったり
枝を折ったりしない

駐車場や遊歩道は、付け替え工事前の旧ぬるめ跡を利用しています。

▶遊歩道・
山砂を撒いて固めた散策路で季節の花や樹木の観察ができます。



豊かな自然環境

わっぱらんどで見ることができる樹木や植物は300種類以上。見たり、触れたり、嗅いだりして、それぞれの特徴を学ぶことができます。



野生動物との出会いも

わっぱらんど周辺は野生の猿の群れの生活の場です。四季を通して目にすることができます。また、カモシカの通り道にもなっており、運が良ければ出会えます。

クマやハチ、ヘビなどの危険生物の生息域ですので、十分注意してください。



パノラマ VR
360°

小さな子どもでもOK！理想的な水遊び場所

敷地内を流れる水路「ぬるめ」の水深は、わずか10センチ程度。見通しが良く、大人の目が届きやすいのも大事なポイントです。ただし、安全のため裸足で水路に入るのはおやめください。



▶流入口

温水路に水が流れこむ場所。
深いので近づかないでください。



▶交流センター

現地事務所と倉庫を兼ねた建物。普段は人はいません。

▶ツリーハウス

温水路「ぬるめ」の水は、ここから田んぼへと流れ出ています。

大町温泉郷



▶温水路ぬるめ

大町温泉郷から1.5km(徒歩約20分)

イベント・整備作業の問合せ：

(特非)ぐるったネットワーク大町 ☎ 0261-85-0556

土地管理者：大町市農林水産課 ☎ 0261-22-0420 (代表電話)